こんなに低い、私達の給与！

ー嘱託職員の待遇改善で2月27日に団体交渉ー

　北海道大学教職員組合は、昨年の１２月下旬に、北海道大学における嘱託職員の待遇改善を求めて、当局に対して団体交渉を申し入れ、２月２７日に団体交渉を行うことになりました。

　組合の独自調査によると、現行の嘱託職員の給与は、月額２２万円の給与月額で、ほかに通勤手当が支給されますが、正規職員に支給されている期末・勤勉手当や寒冷地手当などは支給されていません。これは、国家公務員の再雇用職員と比べても低い水準にあり、道内の他の大学における嘱託職員と比べても低いという実態が明らかになりました。

　組合は、このような低い給与水準にある北大の嘱託職員の待遇は、早急に改善されるべきものと考えます。「団体交渉」においては、多くのみなさんのご支援・ご協力のもと、ぜひとも、嘱託職員の待遇改善をかちとりましょう！

道内他大学よりも

年40万円も低い！

大学名	月額	級	ボーナス合計	ボーナス額	年収	北大との差額
北海道教育大学	214,000円	２級	２．１ヶ月	４４万９千円	３０１万円	３７万７千円
小樽商科大学	214,000円	２段階	２．１ヶ月	４４万９千円	３０１万円	３７万７千円
帯広畜産大学	213,400円	２級	２．１ヶ月	４４万８千円	３００万円	３６万８千円
道内高専	213,400円	２級	２．１ヶ月	４９万円	３０５万円	４１万１千円
北海道大学	220,000円		なし	０円	２６４万円	０円

※ボーナスは、期末・勤勉手当にあたります。

※給与月額以外は、金額の百円単位以下を切り捨てしています。

○●○

組合は、働きやすく働きがいのある職場をめざしています！

2014.2.24

北海道大学教職員組合